

## いわき発 ファイバーリサイクル\* 地域拡大事業

NPO法人 ザ・ピープル

特定非営利活動法人 ザ・ピープル

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字本町11-1 まちづくりステーション小名浜内  
http://www.iwaki-j.com/people/

市内・県内各地に育成してきた古着リサイクル団体の連携により、効率良いファイバーリサイクル活動を実践。若いボランティアの育成にも力を入れ、市民主体のまちづくりの推進を目指している。(一般助成)

\*ファイバーリサイクル：古着などの繊維製品を再利用すること

# 次世代につないでいきたい 古着リサイクルの市民の輪

**福** 島県いわき市のショッピン  
グセンターの一室。山のよ

うに積まれた約7000点の子ども服の中から、お母さんたちが一生懸命、自分の子どもの服を選んでいきます。ここは、いわき市のNPO法人「ザ・ピープル」が年2回開催する「おさがりバザー」の会場。格安で販売されている子ども服は、いわき市周辺から回収されたリサイクル品です。

ザ・ピープルは、市内の女性グループが中心となって1990年に発足した市民団体。「古着を捨てて燃やすのはもったいない」「自分たちの町の問題として考えよう」と、92年から独自のネットワーク



6点を購入した村田さん親子。「初めての赤ちゃんで、これからいろいろそろえなくてはならないので助かります」

クで古着のリサイクルに取り組んでいます。現在、いわき市をはじめ郡山市、福島市等、約40か所に回収ボックスを設置して古着を回収。いわき市内だけでもその量は1年間で200トンにも上ります。「回収した古着は倉庫に運び、ボランティアが一つ一つ仕分けをします。状態が良いものは販売用、それ以外のものはウエス用、ウールリサイクル用、輸出用など、細かく分けれますから、その作業はかなり大変なんです。でもそのおかげで、回収した古着の90%以上のリサイクル率を達成しています。おさがりバザーが、地域の中で古着を循環させるきっかけになると



エコモコ教室で子どもたちに作り方を教えるスタッフの加藤法子さん

ともに、地域の子育て支援にもなればと思っています」と言うのは理事長の吉田恵美子さん。

おさがりバザーの会場では、セーターなどをリサイクルしてできる「エコモコ」というフェルト

でぬいぐるみを作ったり、裂き布でぞうりを作ったりする「手芸教室」も行われています。フェルトのぬいぐるみ作りを担当していたのは20代のスタッフ、加藤法子さん。「手芸教室を通じて、子どもたちにも古着が資源として使えるという意識をもってもらいたい。バザーや店舗でも子どもとの対話を積極的に心がけています」(加藤さん)

「福島県を古着を燃やさない県に！」と提唱するザ・ピープル。今後、さらに回収地域を拡大する



左：回収された古着の仕分け作業を手伝う学生ボランティア  
右：市内各所に設置されたリサイクルボックス



ために市民の輪を広げていきます。「古着を燃やさない社会づくりのために、もっと多くの若い人たちにも参加してもらって、次世代にこの活動をつないでいきたいです」(吉田さん)